記事のタイトルをクリックすると、当該記事のホームページに遷移します。※ページがない場合は、遷移しません。

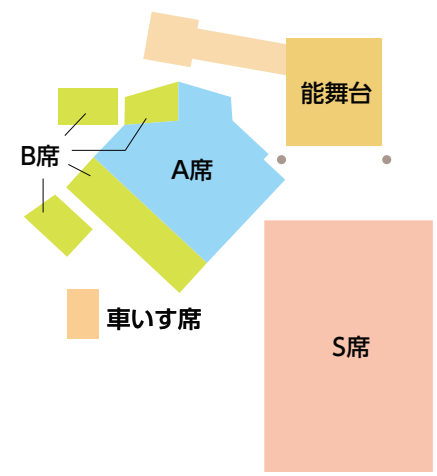
対＝対象 日＝日時・期間 場＝場所 内＝内容 講＝講師 定＝定員 ¥＝費用(記載のないものは無料)

みどりの風 練馬薪能

昨年の様子

問合せ 文化振興係☎5984-1284 FAX 5984-1228
※チケット販売に関する問い合わせは練馬文化センター☎3993-3311。

座席図



料金

S席:6,000円　**A席:**4,000円
B席:2,000円
車いす席:1,000円(同伴者1名は無料)

チケットの申し込み方法(抽選)

対区内在住・在勤(在学)の小学生以上▶**申込期限:**6月20日㈮午後5時
※座席は選べません。　※結果は7月2日㈬ごろに通知します。

練馬文化センターHP

コンビニ払いやクレジットカード決済が利用できます。

往復ハガキ

窓口引換(練馬文化センター・大泉学園ゆめりあホール窓口)または郵便振替を選べます。▶**引換期間:**7月3日㈭～16日㈬申往復ハガキで①みどりの風 練馬薪能②座席区分(S・A・B・車いす席の別)③参加者全員(2名まで)の住所・氏名(ふりがな)・電話番号④引き換え方法(窓口引換・郵便振替の別)⑤区内在勤(在学)の方は勤務先(学校名)を、申込期限(必着)までに〒176-0001練馬1-17-37　練馬文化センターへ　※申し込みは1人1通です。　※記載事項が不足する申し込みは無効です。

注意事項など

- 雨天時は練馬文化センターで実施します。その場合、座席位置が変わります。開催場所は、当日午後1時以降に区HPをご覧いただくか、お問い合わせください。
- 公演中止以外の理由では、チケットの払い戻しはできません。
- 内容は予告なく変更することがあります。
- 聴覚障害のある方にはスマートフォンなどを使って、視覚障害のある方にはイヤホンガイドを使って鑑賞をサポートします。希望する方は、6月20日㈮までに文化振興係へお問い合わせください。

演目のあらすじ

※公演の冒頭に解説があります。

能「石橋 大獅子」

中国・インドの仏跡を巡る旅を続ける寂昭法師は、中国の清涼山にある石橋付近に着く。そこに1人の老人が現れ、橋の向こうは文殊菩薩の浄土であること、橋は狭く長く、深い谷に架かり、人が簡単に渡れるものではないことなどを教え、ここで待てば縁起の良いことが起こるだろうと告げ、姿を消す。寂昭法師が待っていると、まず文殊菩薩に仕える仙人が現れる。次に、文殊菩薩の使いである獅子が現れる。獅子は、咲き誇るボタンの花と戯れ、勇壮な舞で永遠の繁栄を祝う。

能でも随一の豪華絢爛な舞が見どころです。「大獅子」の小書(特殊演出)により複数の獅子が登場し、白はどっしり、赤は素早くと対照的な動きで興味を引きます。獅子の登場前に奏でられ、獅子が躍り出る予感を盛り上げる前奏曲の「乱序」「露の拍子」も聴きどころです。

狂言「文荷」

太郎冠者と次郎冠者は、主人から恋文を届けるよう命じられる。2人は道中で文を押し付け合うが、なかなか進まないので文を竹竿に結び2人で担ぐことにする。能「恋重荷」の一節を謡いながら運んでいくと、なぜか文が重く感じられる。どうしても中身が気になり、2人は文を開けてしまい…。

能「恋重荷」をパロディーにした狂言です。太郎冠者と次郎冠者が息を合わせて文を担ぐ場面は、小気味よい掛け合いに謡曲も取り込んだ、魅力的な内容です。

関連イベント 能楽体験ワークショップ

所作(すり足)や謡の体験を通じ、能を身近に感じることができます。対小学生以上定各30名(先着順)申区HPまたは電話、ファクスで①能楽体験ワークショップ(Ⓐ～Ⓒの別も)②参加者全員(3名まで)の住所・氏名(ふりがな)・年齢(学生は学年も)・電話番号を、文化振興係へ　※手話通訳を希望する方は、開催日の1カ月前までにお知らせください。

日程	場所
Ⓐ7/27㈰	勤労福祉会館
Ⓑ8/2㈯	区役所アトリウム 地下多目的会議室
Ⓒ9/6㈯	光が丘区民センター3階

※時間はいずれも14:30～16:00。